

国家と移民 外国人労働者と日本の未来

鳥井一平

210781166

松浦 史帆

目次

第一章 外国人労働者をめぐる環境

第二章 外国人労働者奮闘記

第三章 「外国人」労働者受け入れ政策の歴史

第四章 これからの移民社会

第一章 外国人労働者をめぐる環境

- ✕ ○
•モノ扱い→使い捨てが横行
- 07年、米「人身売買年次報告書」
- 日本の外国人研修は問題だと指摘



「人身売買年次報告書」の背景

- 05年、時給300円の労働者キャンペーン
- → **岐阜行動**：抗議行動
- 19年まで毎年指摘
- 調査の末、日本政府に予備的勧告
- 研修・技能実習制度→雇用制度へ切り替え



第二章 外国人労働者奮闘記

- 労働問題の例
- 「サービス残業」の告発
- ビザ無、オーバーステイの外国人
- 01年に過去2年間の未払い残業代
- 全従業員に計38億円



第三章 「外国人」労働者受け入れ政策の歴史

- 戦前、移民送り出し国→中止
- 1980末以降、日系三世「定住者」留学生「資格外活動」
→労働力の一端
- 1990年代以降、技能実習・特定技能
- 2000年代以降、共生、多様性への対応

第四章 これからの移民社会

少子高齢化

労働力不足

19年「特定技能」在留資格
20年「特定技能2号」

→実質「移民受け入れ国」

第四章 これからの移民社会

- 外国人はあくまでお客さん
- → 移民の人権や社会的地位の軽視



結論

- 市民の意識や実態との乖離
- 排外主義的な言動や行動
→ 多文化共生の推進に向けた取り組み
- 移民社会 → 共生社会

